

2 県民等環境意識調査の概要

(1) 調査の概要

① 調査の目的

「第二次えひめ環境基本計画」の策定にあたり、環境保全に対する県民等の意識を調査・把握し、計画に反映させるとともに、今後の環境保全に関する施策の推進を図るための基礎資料として活用する。

② 調査の種類

- ア 環境に関する県民意識調査
- イ 環境に関する事業者意識調査
- ウ 環境活動リーダーの環境意識調査
- エ 環境活動団体の環境意識調査
- オ 市町の環境行政の取組状況調査

③ 調査の方法等

ア 調査地域 愛媛県全域

イ 調査対象及び回収数

	県民	事業者	リーダー	団体	市町
対象者の抽出方法	オンラインアンケートを活用し広く回答を募集	会社年鑑等から業種、規模等を勘案して抽出	環境マイスター、地球温暖化防止活動推進員等	環境保全活動に取り組む県内のNPO法人等	県内の全市町
調査対象数	—	500	163	174	20
回収数 (回収率)	544 (—)	264 (52.8%)	106 (65.0%)	72 (41.4%)	20 (100.0%)

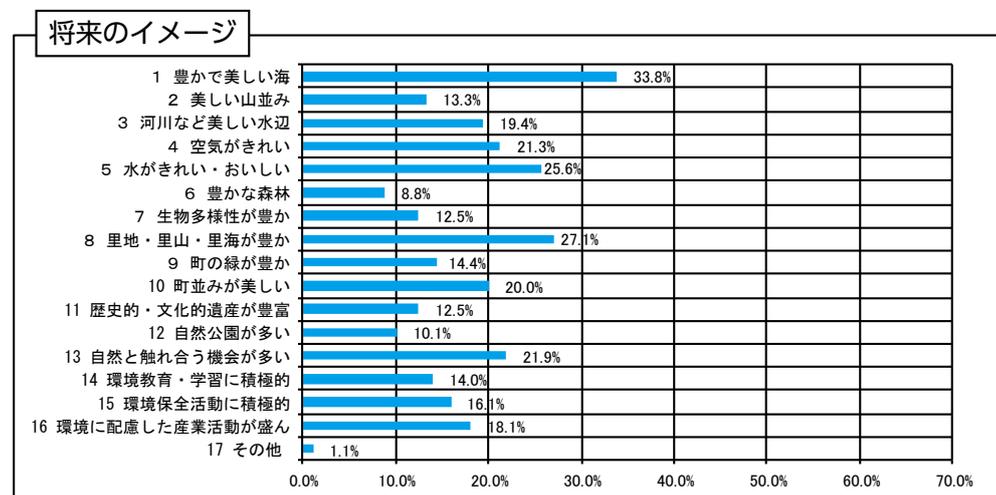
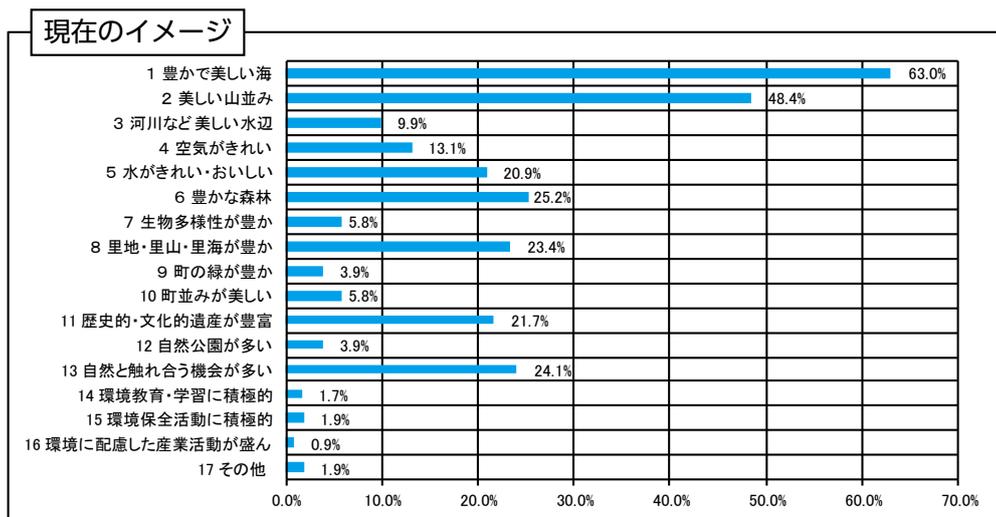
- ウ 調査方法 県民 公開方式によるオンラインアンケート
※オンラインアンケートサイト「Survey Monkey」を活用
事業者、リーダー、団体 郵送による配布・回収
市町 電子メールによる配布・回収
- エ 調査時期 平成27年1月～2月
- オ その他 設問は、原則として「えひめ環境基本計画」策定に先立って実施した前回調査（平成21年11月～平成22年1月実施）と同じとし、計画期間における意識等の変化についても検証する。

(2) 調査結果の概要

① 県民意識調査

◇愛媛県の環境のイメージ

項目	現在のイメージ		将来のイメージ	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
豊かで美しい海	293	63.0	157	33.8
美しい山並み	225	48.4	62	13.3
河川など美しい水辺	46	9.9	90	19.4
空気がきれい	61	13.1	99	21.3
水がきれい・おいしい	97	20.9	119	25.6
豊かな森林	117	25.2	41	8.8
生物多様性が豊か	27	5.8	58	12.5
里地・里山・里海が豊か	109	23.4	126	27.1
町の緑が豊か	18	3.9	67	14.4
町並みが美しい	27	5.8	93	20.0
歴史的・文化的遺産が豊富	101	21.7	58	12.5
自然公園が多い	18	3.9	47	10.1
自然と触れ合う機会が多い	112	24.1	102	21.9
環境教育・学習に積極的	8	1.7	65	14.0
環境保全活動に積極的	9	1.9	75	16.1
環境に配慮した産業活動が盛ん	4	0.9	84	18.1
その他	9	1.9	5	1.1
合計	1281		1348	
回答者数	536		536	

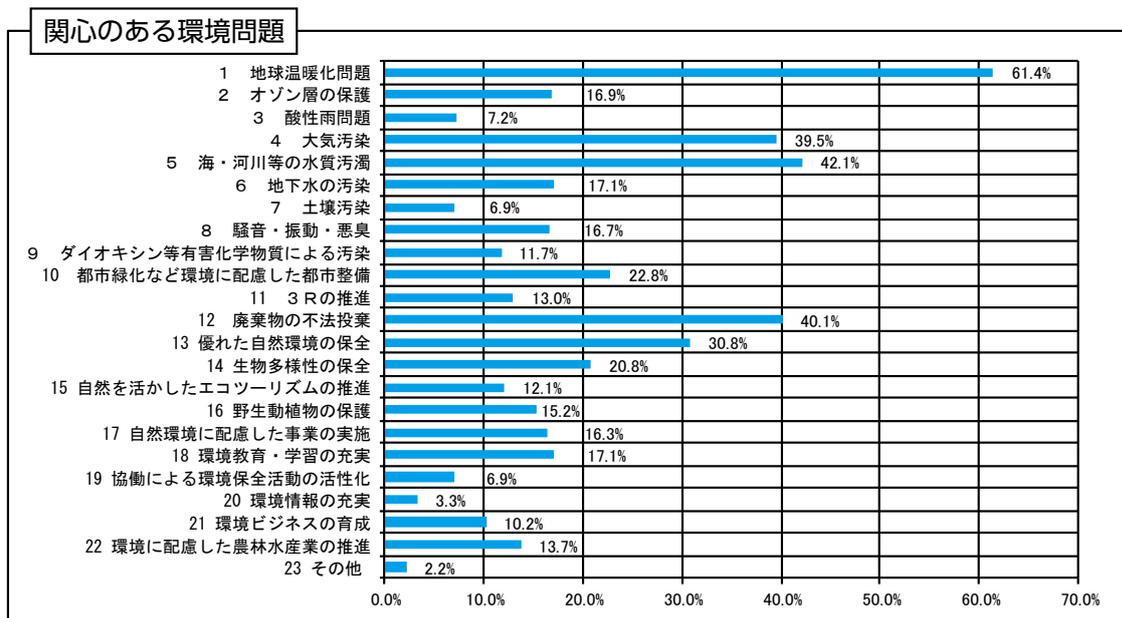
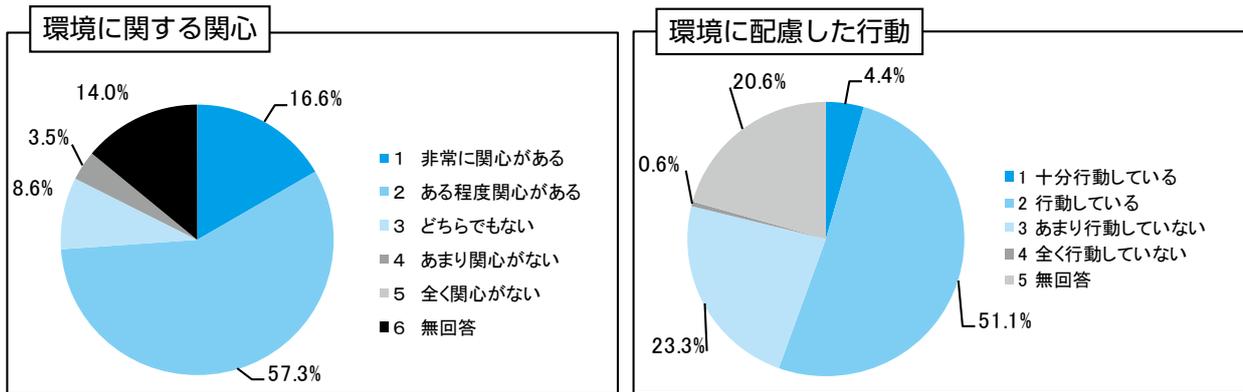


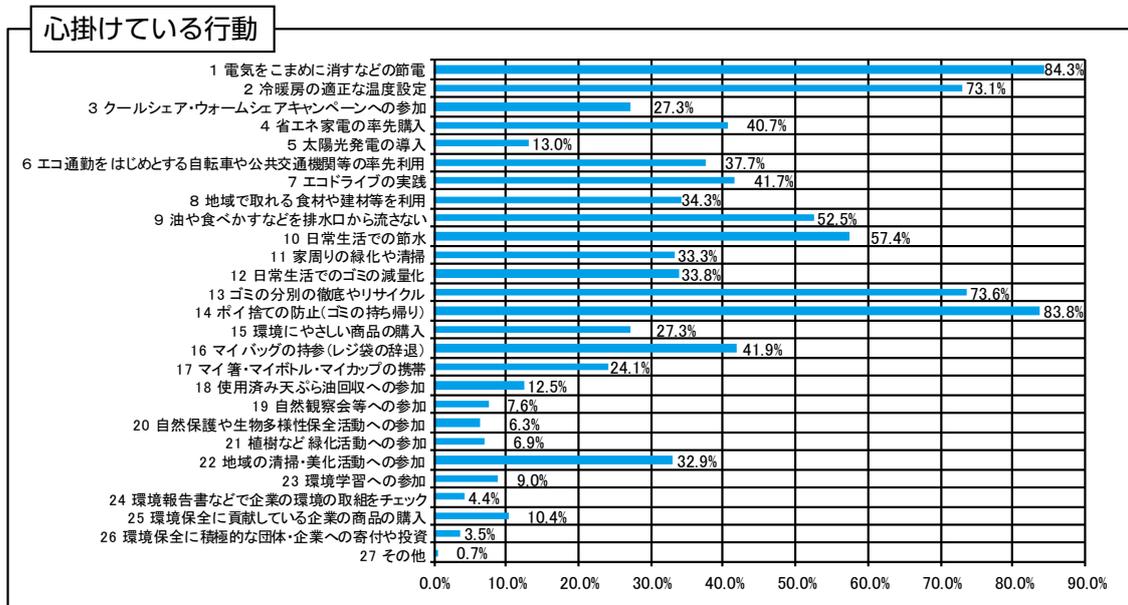
現在の愛媛の環境のイメージについては、「豊かで美しい海」と答えた人の割合が63.0%、「美しい山並み」が48.4%と他の項目に比べて割合が高くなっており、美しい海、山の自然環境に恵まれていると考えている人が多くなっています。一方、「生物多様性が豊か」(5.8%)、「町の緑が豊か」(3.9%)については、そう考えている人の割合が低くなっています。また、「空気がきれい」は前回調査の29.7%から13.1%と大幅に減少しており、PM2.5による越境汚染への懸念などの影響が考えられます。

将来の愛媛の環境のイメージについては、「豊かで美しい海」と答えた人の割合が33.8%のほか、「里地・里山・里海が豊か」が27.1%、「水がきれい・おいしい」が25.6%など、豊かな自然環境とその恩恵を受ける豊かな生活環境が維持されることを望んでいることがうかがえます。

また、現在のイメージとの比較では、現在のイメージが3%以下であった「環境教育・学習に積極的」(1.7%)、「環境保全活動に積極的」(1.9%)、「環境に配慮した産業活動が盛ん」(0.9%)が、将来のイメージでは、それぞれ14.0%、16.1%、18.1%と割合を大きく増加させており、県民は、豊かな環境を維持していくためには、環境に配慮した産業活動や環境保全活動、環境教育・学習に関する取組が必要と考えていることがうかがえます。

◇環境に関する関心及び行動





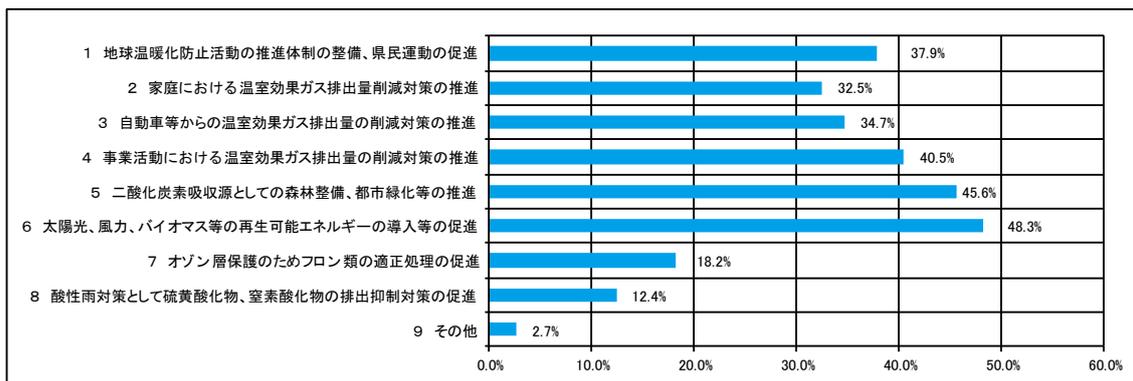
環境に関する関心は、「非常に関心がある」と答えた人の割合が16.6%、「ある程度関心がある」が57.3%で、7割以上の方が関心を持っています。また、環境に配慮した行動についても、「十分行動している」が4.4%、「行動している」が51.1%となっており、約55%の人が環境に配慮した行動をしており、環境に関心を持っている人の多くが環境に配慮した行動を心掛けていることがうかがえます。

関心のある環境問題については、「地球温暖化問題」と答えた人の割合が61.4%と特に高くなっており、以下、「海・河川等の水質汚濁」(42.1%)、「廃棄物の不法投棄」(40.1%)、「大気汚染」(39.5%)の順となっています。

日常生活において心掛けている環境に配慮した行動については、「電気をこまめに消すなどの節電」と答えた人の割合が84.3%、「ポイ捨ての防止(ゴミの持ち帰り)」が83.8%、「ゴミの分別の徹底やリサイクル」が73.6%、「冷暖房の適正な温度設定」が73.1%で、他の項目に比べて割合が高くなっています。

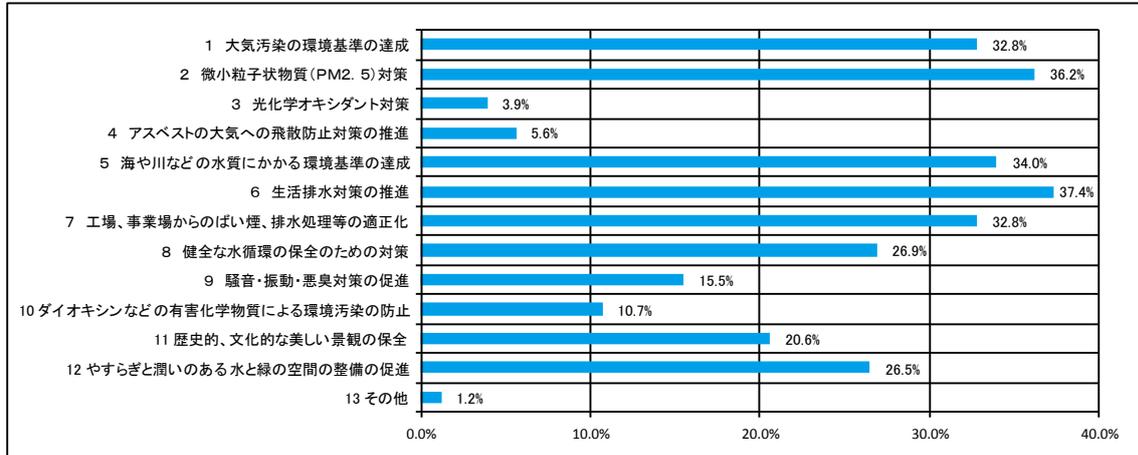
◇環境分野ごとの取組
 (地球環境)

地球環境の保全のための重要な取組については、「太陽光、風力、バイオマス等の再生可能エネルギーの導入等の促進」と答えた人の割合が48.3%で、前回調査の36.0%から大きく増加しており、続いて「二酸化炭素吸収源としての森林整備、都市緑化等の推進」が45.6%、「事業活動における温室効果ガス排出量の削減対策の推進」が40.5%となっており、地球温暖化防止のために県民総ぐるみで様々な取組を実施していくことが重要であると考えていることがうかがえます。



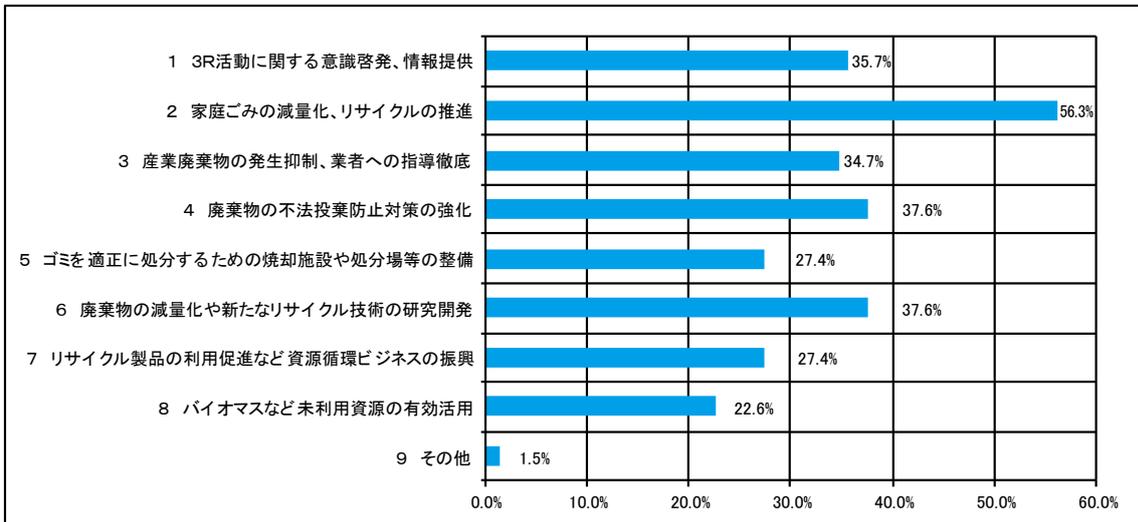
〈生活環境〉

生活環境の保全のための重要な取組については、「生活排水対策の推進」と答えた人の割合が37.4%、「微小粒子状物質（PM2.5）対策」が36.2%、「海や川などの水質にかかる環境基準の達成」が34.0%、「大気汚染の環境基準の達成」と「工場、事業場からのばい煙、排水処理等の適正化」が32.8%の順となっており、大気や水質の汚染防止対策が重要と考えている人が多くなっています。



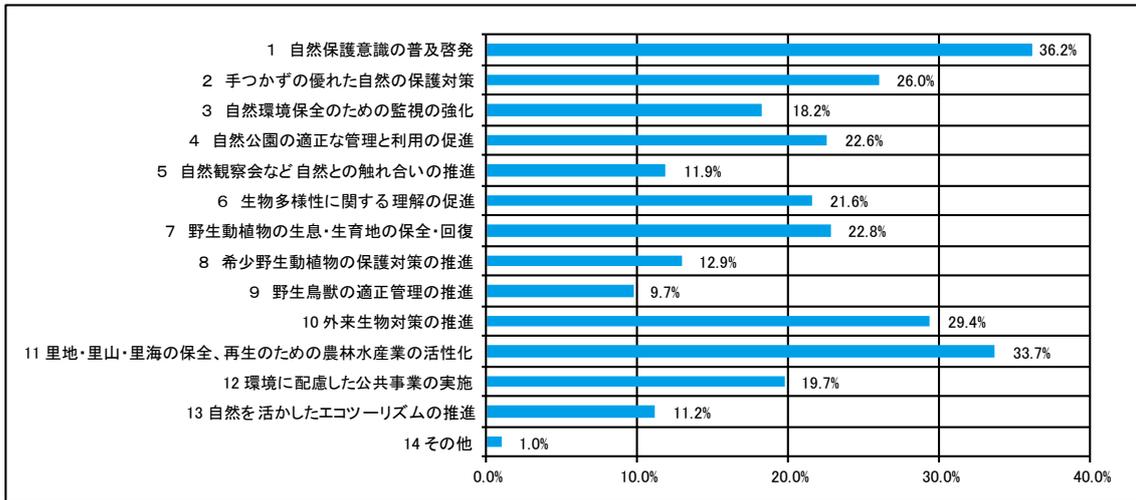
〈循環型社会〉

循環型社会の構築のための重要な取組については、「家庭ごみの減量化、リサイクルの推進」と答えた人の割合が56.3%で、前回調査の47.2%から大幅に増加しており、続いて「廃棄物の不法投棄防止対策の強化」と「廃棄物の減量化や新たなリサイクル技術の研究開発」が37.6%、「3R活動に関する意識啓発、情報提供」が35.7%の順となっています。



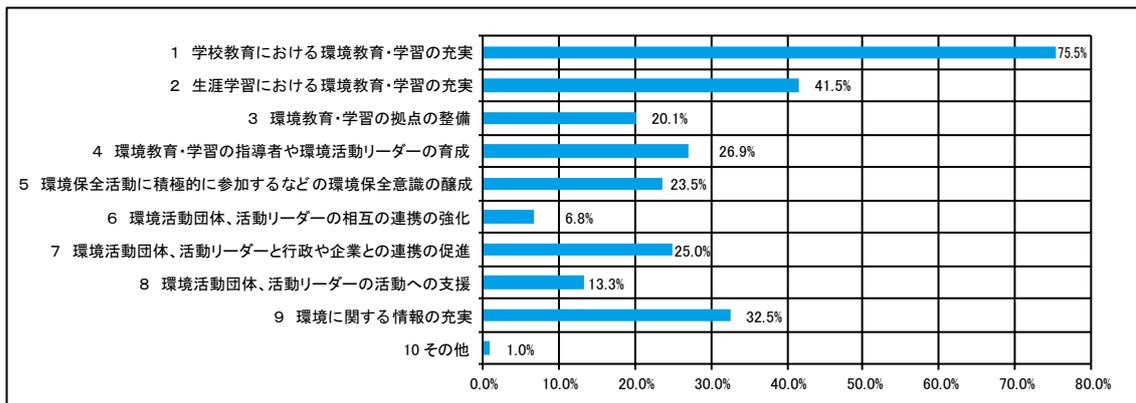
〈自然、生物多様性〉

自然環境及び生物多様性の保全のための重要な取組については、「自然保護意識の普及啓発」と答えた人の割合が36.2%でトップ、前回調査でトップ（44.5%）だった「里地・里山・里海の保全、再生のための農林水産業の活性化」が33.7%で2位、以下「外来生物対策の推進」が29.4%、「手つかずの優れた自然の保護対策」が26.0%の順となっています。



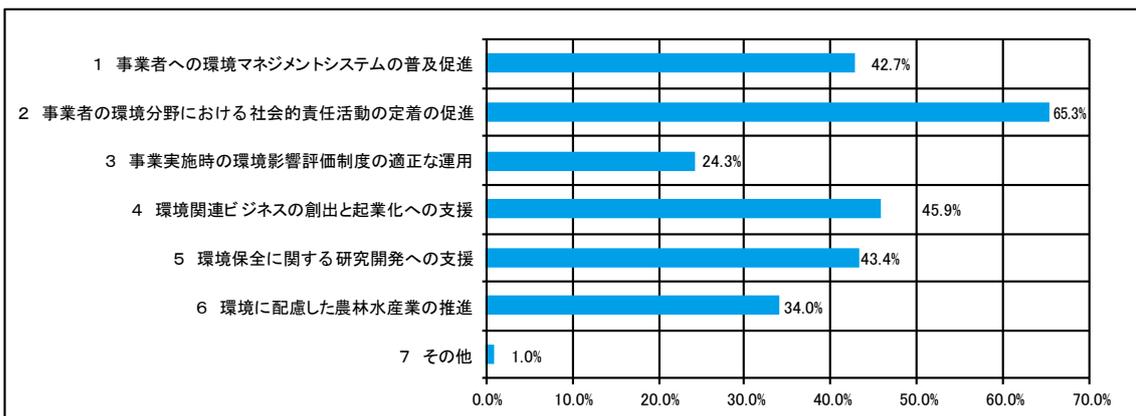
〈参加と協働〉

環境保全活動への参加と協働を促進するための重要な取組については、「学校教育における環境教育・学習の充実」と答えた人の割合が75.5%と特に高く、以下「生涯学習における環境教育・学習の充実」が41.5%、「環境に関する情報の充実」が32.5%、「環境教育・学習の指導者や環境活動リーダーの育成」が26.9%、「環境活動団体、活動リーダーと行政や企業との連携の促進」が25.0%の順となっており、環境教育・学習の充実を重要と考えている人が多くなっています。



〈環境と経済〉

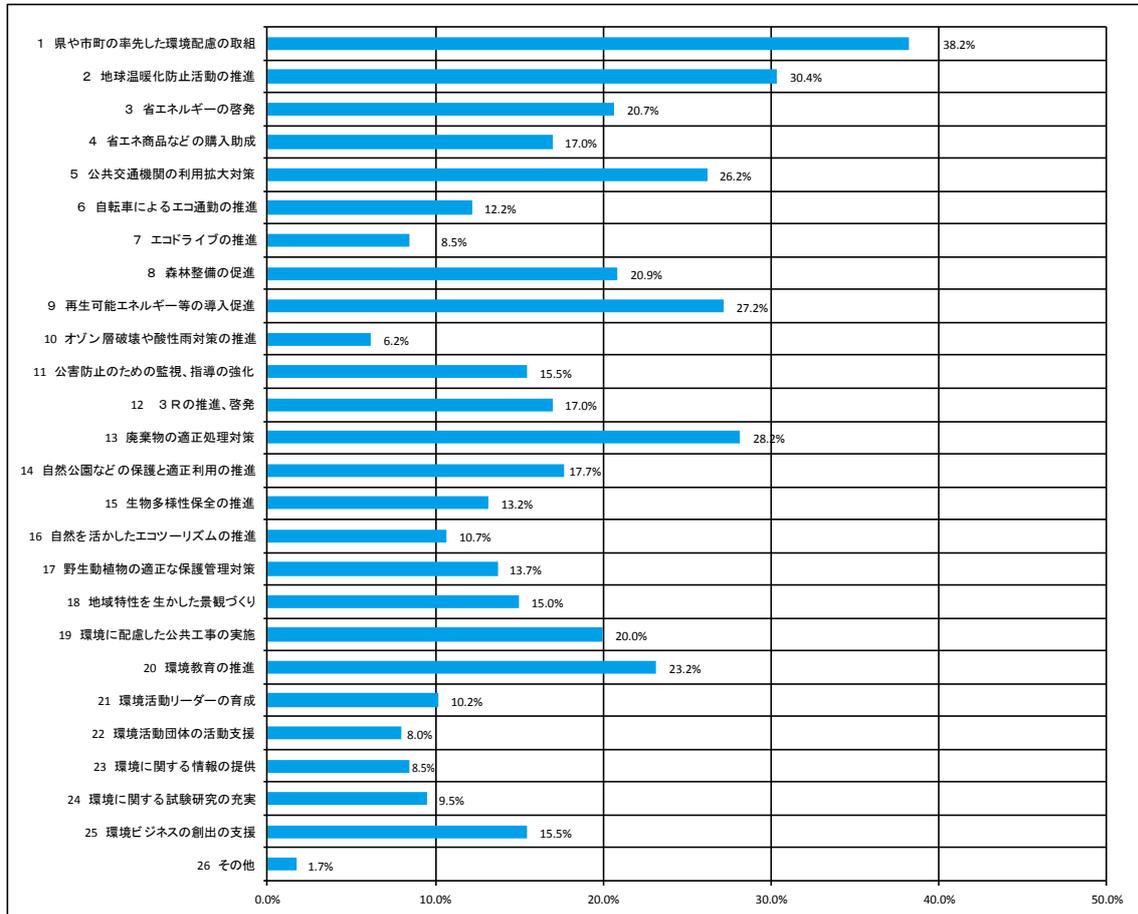
環境と経済の好循環する社会を創造するための重要な取組については、「事業者の環境分野における社会的責任行動の定着の促進」と答えた割合が65.3%、「環境関連ビジネスの創出と起業化への支援」が45.9%、「環境保全に関する研究開発への支援」が43.4%の順となっています。



◇その他

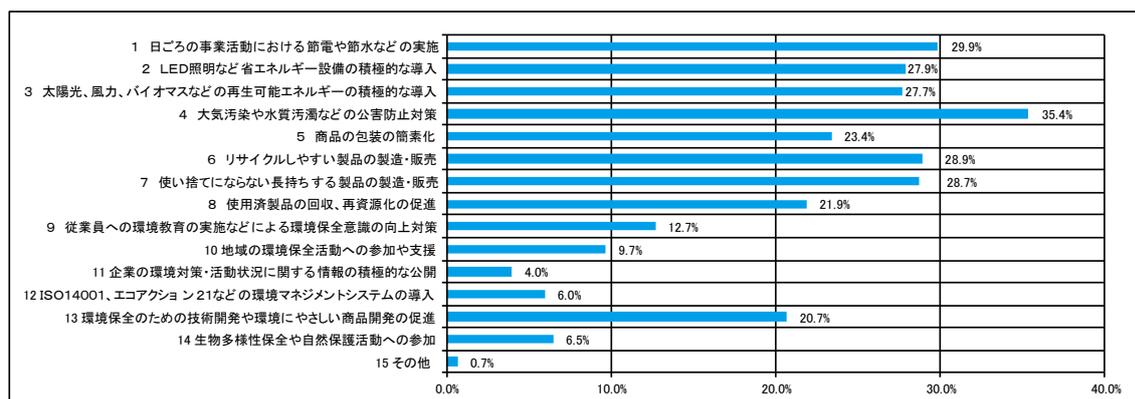
〈行政への要望〉

県内の環境をより良くするために行政に期待する取組については、「県や市町の率先した環境配慮の取組」と答えた割合が38.2%、「地球温暖化防止活動の推進」が30.4%、「廃棄物の適正処理対策」が28.2%の順となっています。



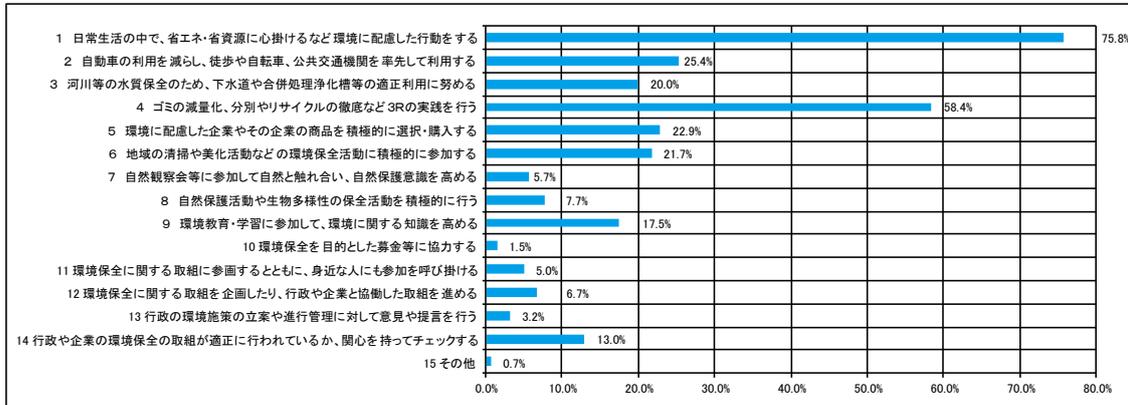
〈事業者への要望〉

県内の環境をより良くするために事業者に期待する取組については、「大気汚染や水質汚濁などの公害防止対策」と答えた割合が35.4%、「日ごろの事業活動における節電や節水などの実施」が29.9%、「リサイクルしやすい製品の製造・販売」が28.9%の順となっています。



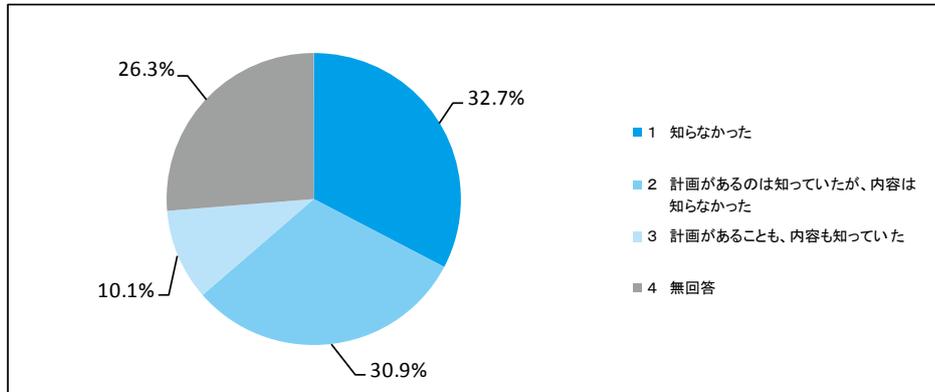
〈県民の役割〉

県内の環境をより良くするために県民の果たす役割については、「日常生活の中で、省エネ・省資源に心掛けるなど環境に配慮した行動をする」と答えた割合が75.8%、「ゴミの減量化、分別やリサイクルの徹底など3Rの実践を行う」が58.4%、「自動車の利用を減らし、徒歩や自転車、公共交通機関を率先して利用する」が25.4%の順となっています。



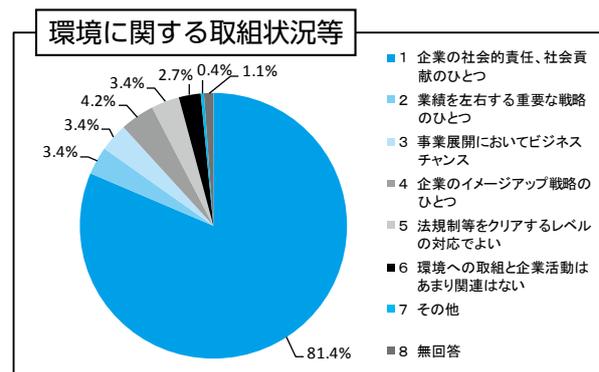
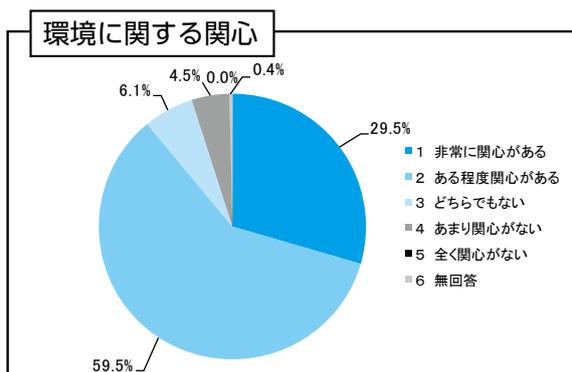
〈計画の認知度〉

「えひめ環境基本計画」について、「知らなかった」と答えた割合が32.7%、「計画があるのは知っていたが、内容は知らなかった」が30.9%となっており、残念ながら計画の認知度はあまり高くなっていません。

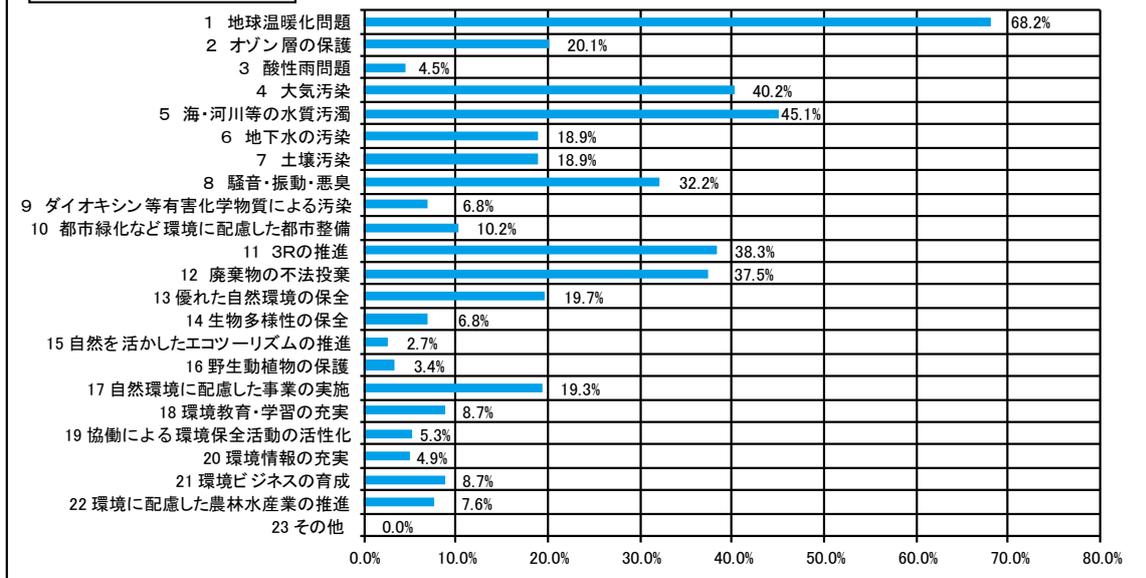


② 事業者意識調査

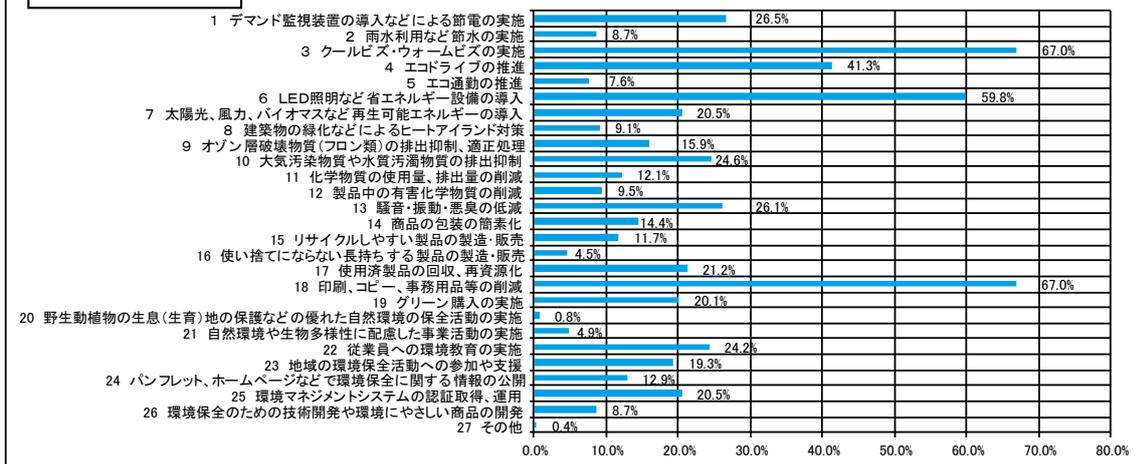
◇環境に関する関心及び行動



関心のある環境問題



環境保全の取組



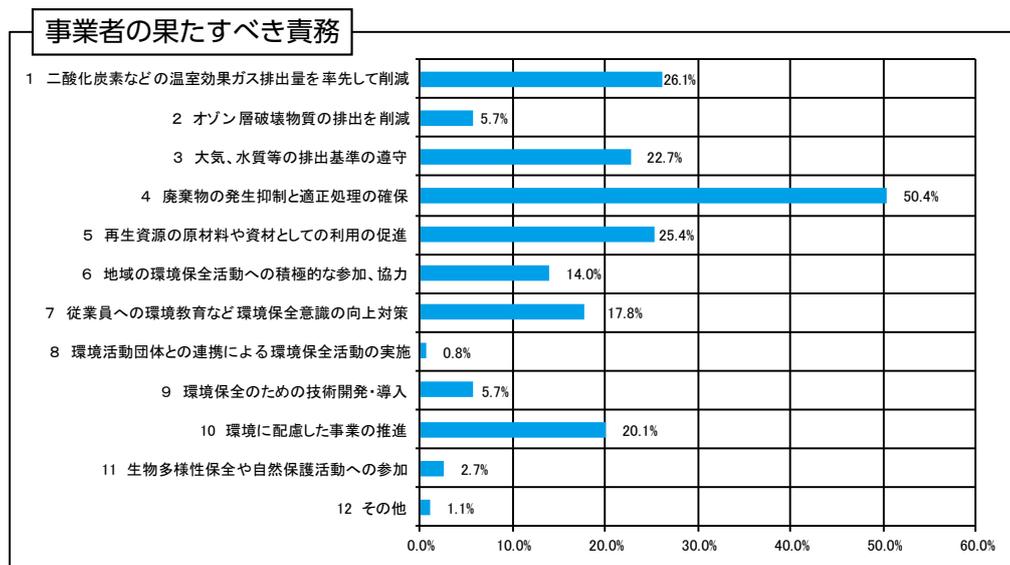
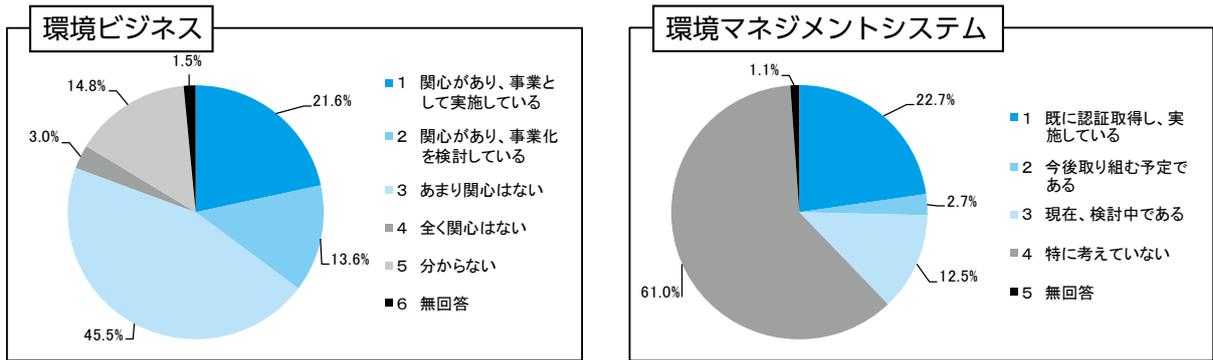
環境に対する関心については、「非常に関心がある」と答えた事業者の割合が29.5%、「ある程度関心がある」が59.5%となっており、約9割の事業者は関心を持っています。

また、関心がある環境問題については、「地球温暖化問題」と答えた事業者の割合が68.2%と特に高くなっています。

環境への取組と企業活動のあり方については、「企業の社会的責任、社会貢献のひとつ」と答えた事業者の割合が81.4%となっており、8割以上の事業者が環境に配慮した取組を企業の社会的責任等と考えていることがうかがえます。

また、実際の取組としては、「クールビズ・ウォームビズの実施」と「印刷、コピー事務用品等の削減」が67.0%で最も高く、続いて「LED照明など省エネルギー設備の導入」(59.8%)、「エコドライブの推進」(41.3%)となっています。特に「LED照明など省エネルギー設備の導入」は前回調査の30.7%から大幅に増加しており、近年の電力不足への対応が進んでいることがうかがえます。

◇環境ビジネス、環境マネジメントシステムの導入等



環境ビジネスについては、「あまり関心がない」と答えた割合が45.5%となっており、環境ビジネスの関心はあまり高くなっていません。

環境マネジメントシステムの導入については、22.7%が既に認証を取得しており、「今後取組む予定である」（2.7%）及び「現在検討中」（12.5%）を合わせると、約3分の1の事業者においては、事業者が自主的に環境マネジメントシステムの導入に向けて取組を進めています。

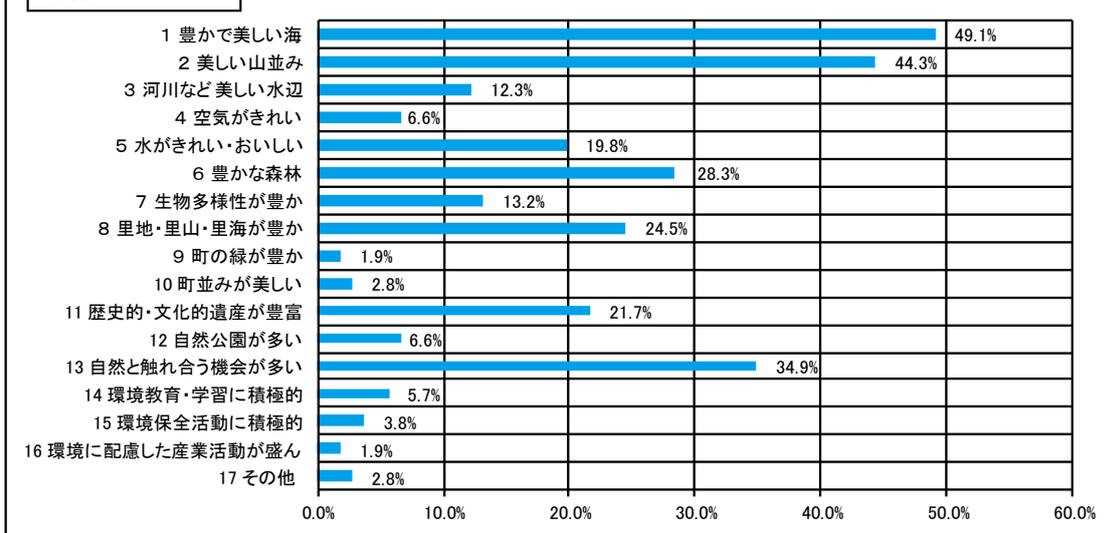
また、環境問題に関して事業者が果たすべき責務については、「廃棄物の発生抑制と適正処理の確保」と答えた割合が50.4%と特に高く、続いて「二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を率先して削減」が26.1%となっています。

③ 環境活動リーダー意識調査

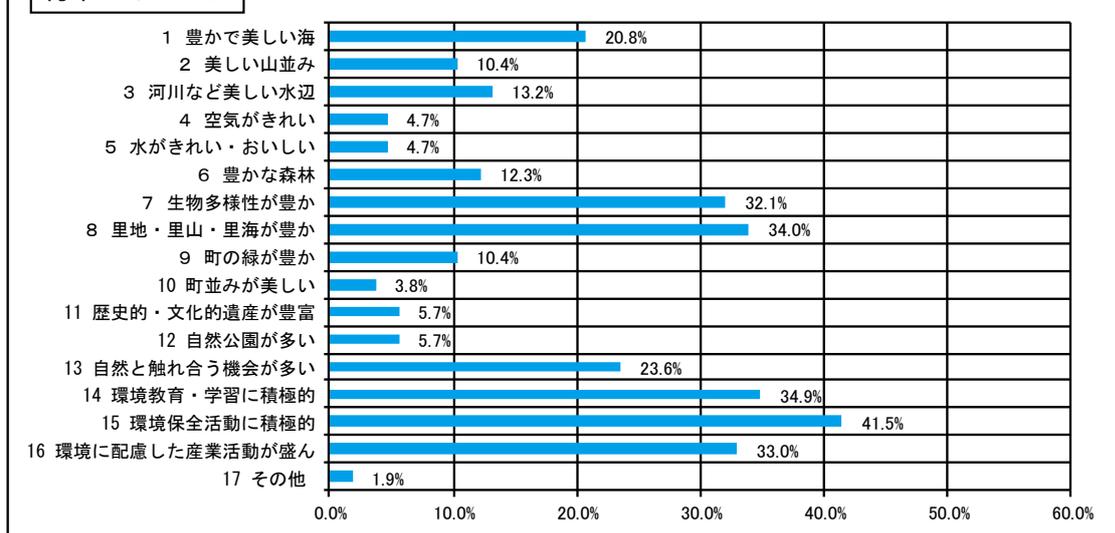
◇愛媛県の環境のイメージ

項目	現在のイメージ		将来のイメージ	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
豊かで美しい海	52	49.1	22	20.8
美しい山並み	47	44.3	11	10.4
河川など美しい水辺	13	12.3	14	13.2
空気がきれい	7	6.6	5	4.7
水がきれい・おいしい	21	19.8	5	4.7
豊かな森林	30	28.3	13	12.3
生物多様性が豊か	14	13.2	34	32.1
里地・里山・里海が豊か	26	24.5	36	34.0
町の緑が豊か	2	1.9	11	10.4
町並みが美しい	3	2.8	4	3.8
歴史的・文化的遺産が豊富	23	21.7	6	5.7
自然公園が多い	7	6.6	6	5.7
自然と触れ合う機会が多い	37	34.9	25	23.6
環境教育・学習に積極的	6	5.7	37	34.9
環境保全活動に積極的	4	3.8	44	41.5
環境に配慮した産業活動が盛ん	2	1.9	35	33.0
その他	3	2.8	2	1.9
合計	297		310	
回答者数	106		106	

現在のイメージ



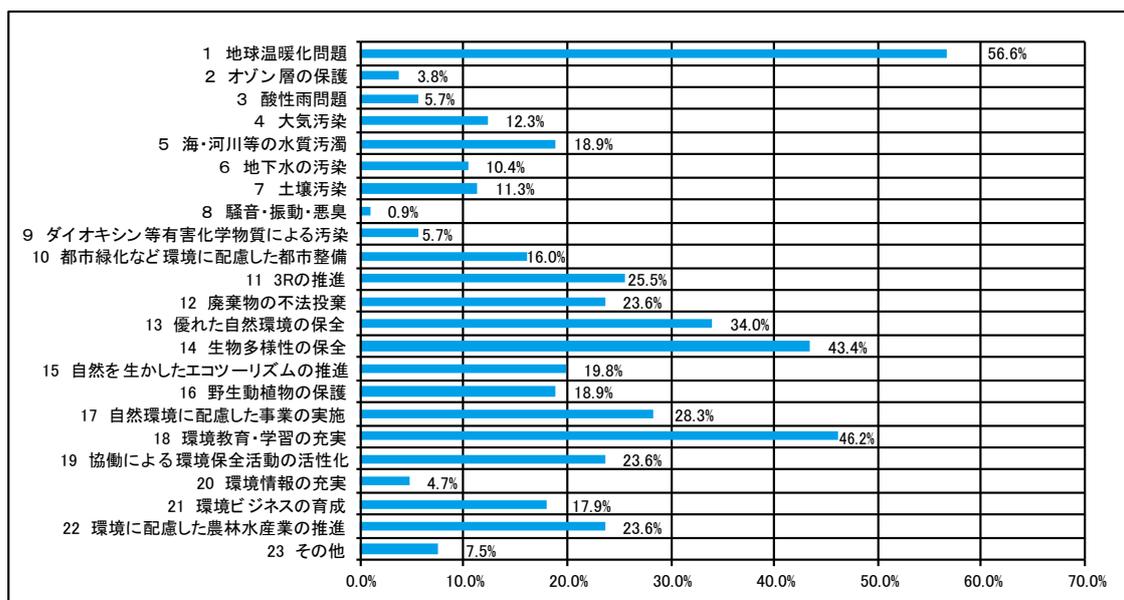
将来のイメージ



現在の愛媛の環境のイメージについては、県民意識調査と同様に、「豊かで美しい海」(49.1%)、「美しい山並み」(44.3%)と答えた人の割合が高くなっています。

一方、将来の愛媛の環境のイメージについては、「環境保全活動に積極的」と答えた人の割合が41.5%、「環境教育・学習に積極的」が34.9%、「里地・里山・里海が豊か」が34.0%、「環境に配慮した産業活動が盛ん」が33.0%と、他の項目に比べて割合が高くなっており、県民意識調査とは違った結果になっています。

◇環境に関する関心



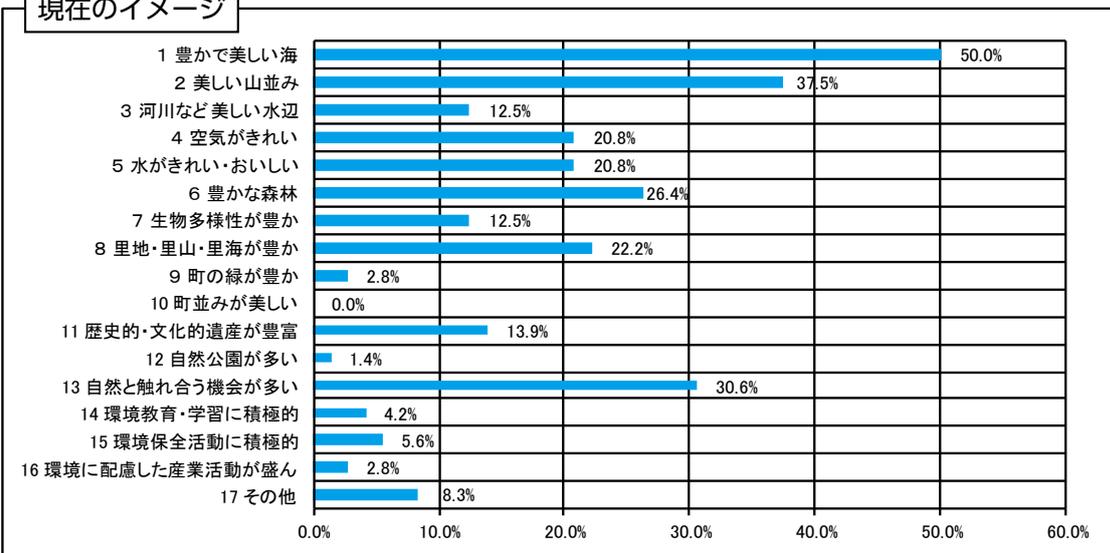
関心のある環境問題については、「地球温暖化問題」と答えた人の割合が56.6%と特に高く、続いて「環境教育・学習の充実」が46.2%、「生物多様性の保全」が43.4%の順となっています。

④ 環境活動団体意識調査

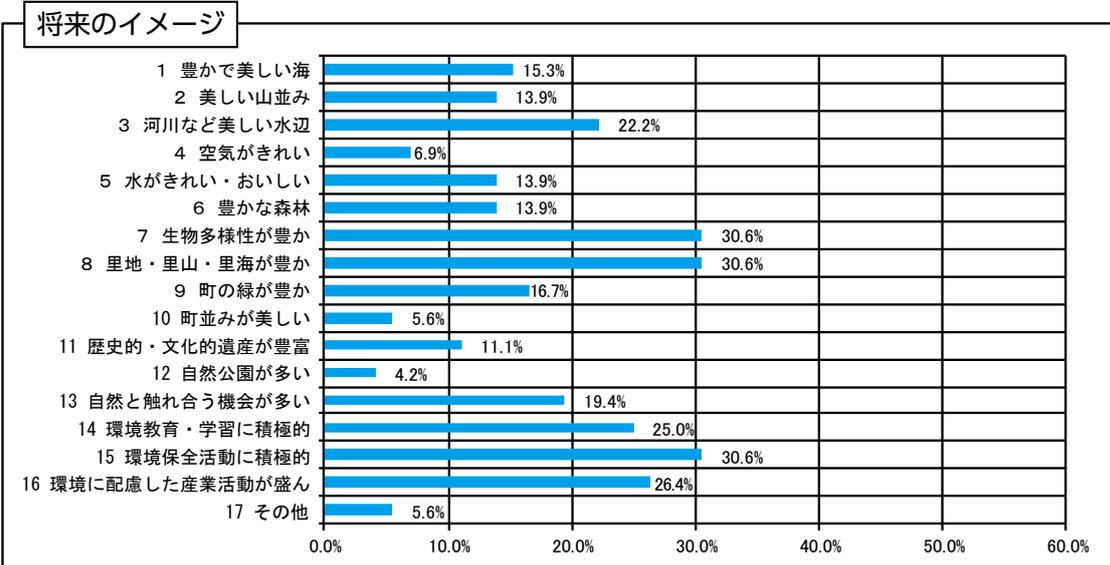
◇愛媛県の環境のイメージ

項目	現在のイメージ		将来のイメージ	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
豊かで美しい海	36	50.0	11	15.3
美しい山並み	27	37.5	10	13.9
河川など美しい水辺	9	12.5	16	22.2
空気がきれい	15	20.8	5	6.9
水がきれい・おいしい	15	20.8	10	13.9
豊かな森林	19	26.4	10	13.9
生物多様性が豊か	9	12.5	22	30.6
里地・里山・里海が豊か	16	22.2	22	30.6
町の緑が豊か	2	2.8	12	16.7
町並みが美しい		0.0	4	5.6
歴史的・文化的遺産が豊富	10	13.9	8	11.1
自然公園が多い	1	1.4	3	4.2
自然と触れ合う機会が多い	22	30.6	14	19.4
環境教育・学習に積極的	3	4.2	18	25.0
環境保全活動に積極的	4	5.6	22	30.6
環境に配慮した産業活動が盛ん	2	2.8	19	26.4
その他	6	8.3	4	5.6
合計	196		210	
回答者数	72		72	

現在のイメージ



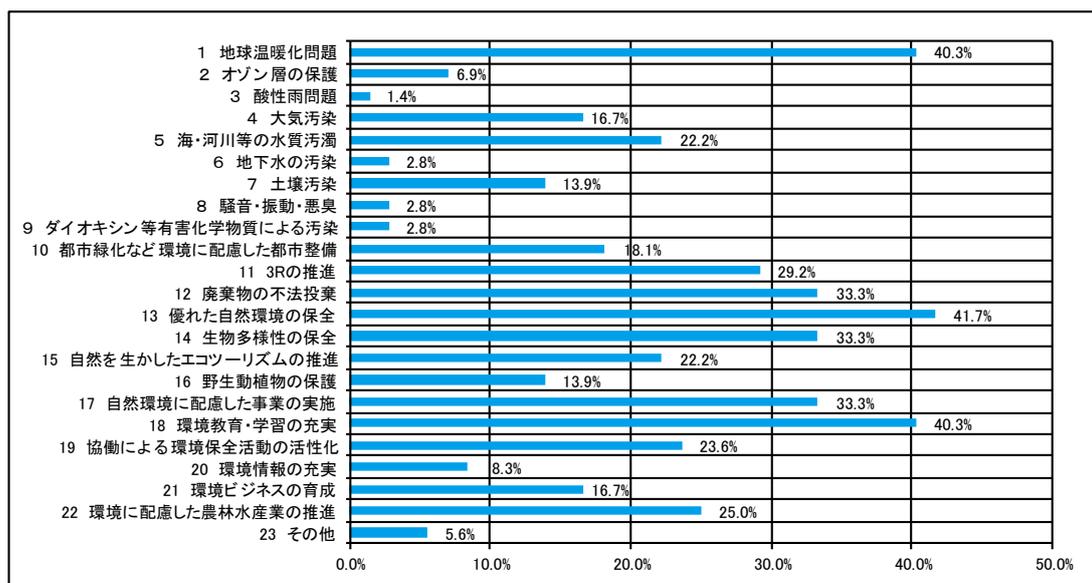
将来のイメージ



現在の愛媛の環境のイメージについては、県民意識調査や環境活動リーダーの調査と同様に、「豊かで美しい海」(50.0%)、「美しい山並み」(37.5%)と答えた人の割合が高くなっています。

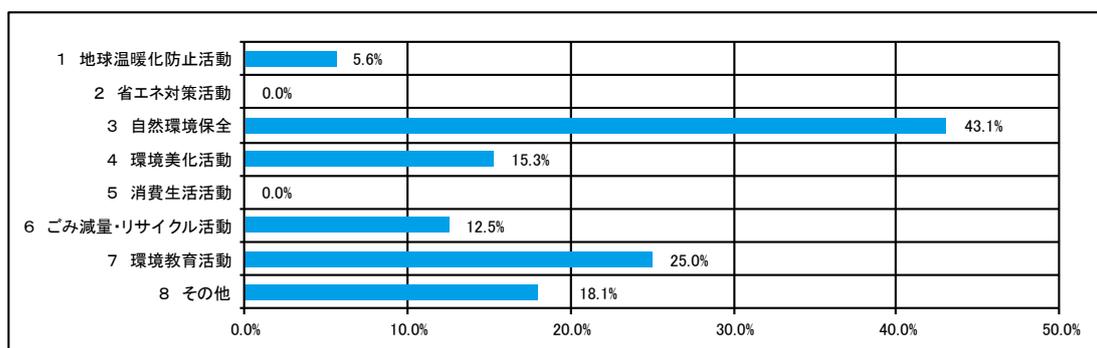
将来の愛媛の環境のイメージについては、「生物多様性が豊か」、「里地・里山・里海が豊か」、「環境保全活動に積極的」の3項目が30.6%と最も高く、以下「環境に配慮した産業活動が盛ん」が26.4%、「環境教育・学習に積極的」が25.0%の順となっています。

◇環境に関する関心



関心のある環境問題については、「優れた自然環境の保全」と答えた人の割合が41.7%と高く、「地球温暖化問題」と「環境教育・学習の充実」が40.3%となっています。

◇団体の取組分野



環境活動団体の主な活動分野については、「自然環境の保全」と答えた団体が43.1%と最も高く、以下「環境教育活動」が25.0%、「環境美化活動」が15.3%、「ごみの減量・リサイクル活動」が12.5%の順となっており、愛媛の豊かな自然環境を維持するための活動や身近なごみの減量化などの活動を行っている団体が多くなっています。

⑤ 市町環境行政取組状況調査

◇環境基本条例等の制定状況

項目	制定している		現在検討中		予定はない	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
環境基本条例	11	55.0	3	15.0	6	30.0
環境基本計画	10	50.0	3	15.0	7	35.0
地域の環境保全のための条例・計画	9	45.0	4	20.0	7	35.0

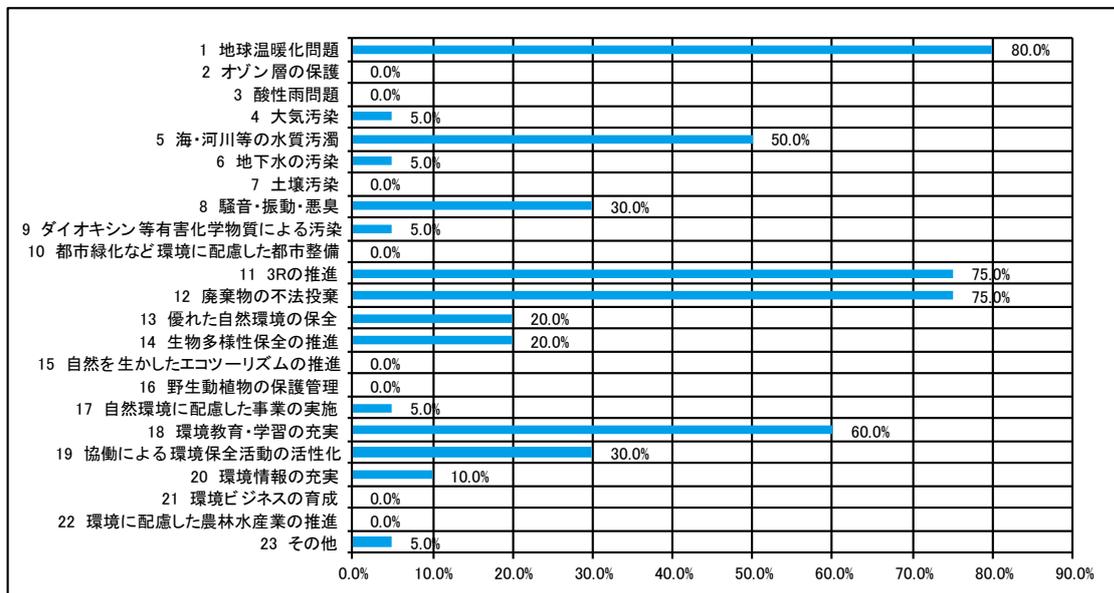
県内20市町のうち、11市町（松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、四国中央市、久万高原町、砥部町、内子町、愛南町）においては、環境基本条例がすでに制定されています。（伊方町では、調査後の平成27年3月に環境基本条例が制定されました。）

また、環境基本計画については、10市町（宇和島市と久万高原町を除く、環境基本条例を制定している9市町と、東温市）において策定されています。

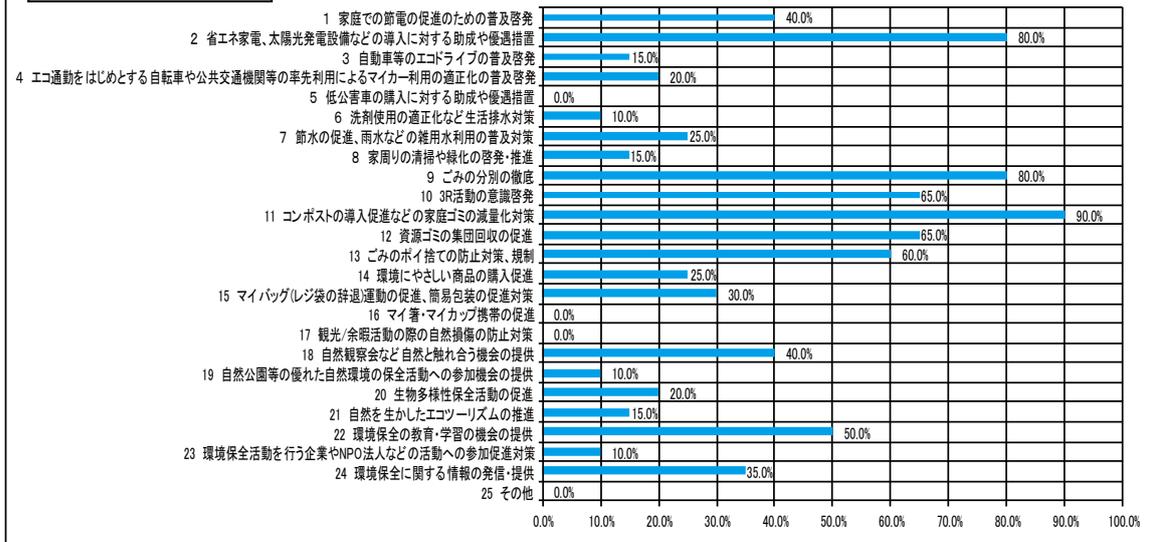
また、地域の環境保全のための条例・計画については、9市町（八幡浜市、新居浜市、大洲市、伊予市、東温市、久万高原町、砥部町、内子町、松野町）において制定されています。

なお、環境基本条例の制定については3市町において、環境基本計画の策定についても3市町において、地域の環境保全のための条例・計画については4市町において、制定等が検討されています。

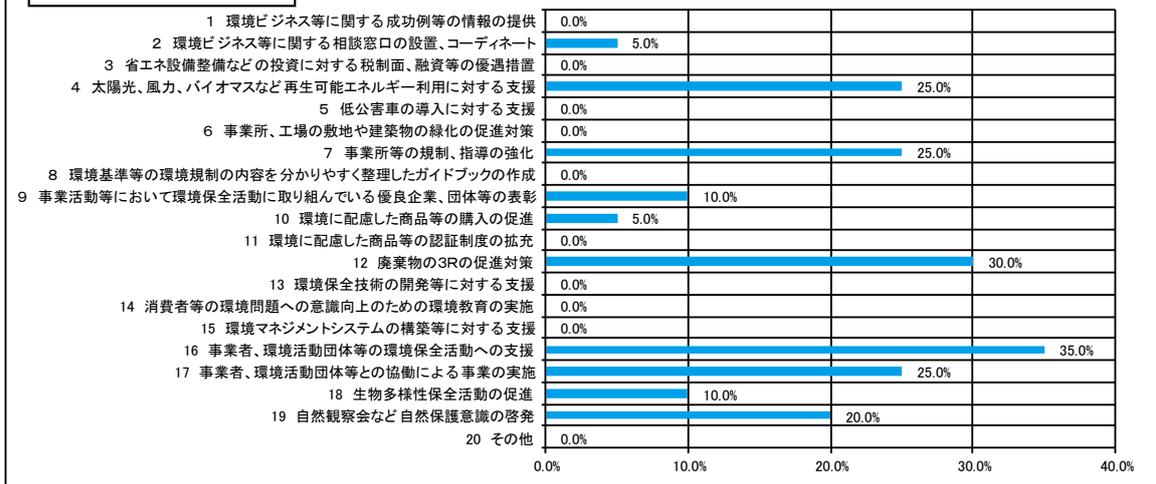
◇環境保全の取組



住民に対する取組



事業者に対する取組



県内市町の環境保全の取組に関して、重点的に取り組んでいる環境問題（複数回答可：5つまで）については、「地球環境問題」と答えた市町が16市町となっており、特に関心を持って取り組んでいることがうかがえます。以下「廃棄物の不法投棄」（14市町）、「環境教育・学習の充実」（13市町）、「3Rの推進」（11市町）の順となっています。

また、住民に対する取組については、「コンポストの導入促進などの家庭ゴミの減量化対策」と答えた市町が18市町と最も多く、以下、「省エネ家電、太陽光発電設備などの導入に対する助成や優遇措置」（16市町）、「ごみの分別の徹底」（16市町）の順となっており、家庭ごみに関する取組は充実していることがうかがえます。

事業者等に対する取組では、「事業者、環境活動団体等の環境保全活動への支援」と答えた市町が7市町、「廃棄物の3Rの促進対策」が6市町ありますが、全般的に、事業者等に対する取組はあまり実施されていないことがうかがえます。